便利な機能

歩数計・活動量計を使う 338
マルチアクセスについて 343
さまざまな画面で検索機能を使う ..... ＜らくらく検索＞ 344
自動的に電源を入れる ..... ＜自動電源ON設定＞ 344
自動的に電源を切る ..... ＜自動電源OFF設定＞ 345
通知時刻に自動的に電源を入れる ..... ＜通知時刻自動電源ON設定＞ 345
簡単な操作でタイマーを設定する ..... ＜お知らせタイマー＞ 346
目覚ましを使う 346
スケジュール帳を使う 348
通話時間を確認する ..... ＜直前通話時間／積算通話時間＞ 354
通話料金を確認する ..... ＜直前通話料金／積算通話料金＞ 355
電卓を使う 356
辞書を使う 356
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた 357
イヤホンをつないで自動で電話を受ける ..... ＜オート着信設定＞ 359
イヤホンだけから着信音を鳴らす ..... ＜イヤホン切替設定＞ 359
集音器を使う 360
ドコモコミュニティについて 360
つながりほっとサポートについて 361

歩数計・活動量計を使う

歩数計・活動量計で、歩数や歩いた距離、活動量、消費カロリーや脂肪燃焼量、いきいき歩行やいきいき活動量などを確認できます。また、歩数計・活動量計のデータをグラフで表示したり、毎日の歩数計・活動量計データを指定した宛先へ自動的にメールで送信したりできます。

- 歩数計・活動量計機能で表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

■ 活動量とは

日常生活での動作や歩行、運動など、体を動かした量を数値にして、「Ex（エクササイズ）」という単位で表したものです。

- 体を動かした時間と運動強度から算出されます。

■ 運動強度とは

たとえば、歩行とジョギングでは体が感じるきつさ（運動の強さ）が異なります。運動の強さが安静時の何倍に相当するかを数値にして、「METs（メッツ）」という単位で表したものです。

- 活動量は、3METs以上の運動強度が計測されたときに算出されます。
- 現在の運動強度を測定できます。→p.341

■ いきいき歩行、いきいき活動量とは

有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行や活動量を計測したものです。

- いきいき歩行は、毎分60歩以上の速さで3分以上続けて歩いたときに計測されます。
- いきいき活動量は、3METs以上の運動強度が3分以上続けて測定されたときに計測されます。
- 4分以内の休憩は継続したものとします。

歩数計・活動量計ご利用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など体の一部のみが動作しているなど歩行や運動がFOMA端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、FOMA端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- FOMA端末の開閉やボタン操作などを行ったとき、FOMA端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。

歩数計・活動量計の設定

歩数計・活動量計の利用に必要な情報を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「8歩数・活動量計を設定する」を押す

歩数計／活動量計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1利用する」▶決定を押す

身長の入力画面が表示されます。

■ 利用しない場合：「2利用しない」を押す

操作5に進みます。

3 身長を入力▶決定を押す

体重の入力画面が表示されます。

- 100～220cmの間で入力します。

4 体重を入力▶決定を押す

歩数計／活動量計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。

- 30～120kgの間で入力します。
- 日付・時刻を設定していない場合は、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押します。

5 決定を押すまたは約5秒後にメニュー画面に戻る

- 本機能を使用中は、待受画面に🚶または🚶✉(自動送信メールも使用しているとき）が表示されます。また、お買い上げ時に登録されている待受画面の画像によっては、歩数や活動量の数値と連動するものがあります。→p.110

歩数・活動量の履歴の確認

歩数計・活動量計で計測したデータの履歴を、1日分（→p.340）、グラフ（→p.340）、一覧（→p.341）で確認できます。

- カウント中の歩数を背面ディスプレイに表示することができます。→p.29
- 毎日午前0時0分になると、1日分の計測データが履歴として保存されます。当日を含めて1098日分記録できます。1098日を超えると、古いものから順に上書きされます。

表示項目	内　容
歩数	カウントした歩数が表示されます（最大999999歩）。
歩いた距離	歩数と歩幅から算出した歩行距離※1が表示されます（最大9999.9km）。
活動量	体を動かした時間と運動強度から算出した活動量が表示されます（最大9999.9Ex）。
消費カロリー	運動強度、体を動かした時間、設定した体重などから算出した消費カロリー※2が表示されます（最大65535kcal）。
脂肪燃焼量	消費カロリーから算出した脂肪燃焼量が表示されます（最大4681g）。
いきいき歩数	いきいき歩行の歩数が表示されます（最大999999歩）。
いきいき歩行時間	いきいき歩行の歩行時間が表示されます（最大999時間59分）。
いきいき活動量	いきいき活動量が表示されます（最大9999.9Ex）。

※1 1分あたりの歩数により歩幅が補正されるため、歩幅から算出した歩行距離とは異なる場合があります。

※2 運動強度が計測されない場合は、カロリー計算は行われません。

お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- 歩数、歩いた距離、活動量、いきいき歩数、いきいき活動量は、最大値を超えると0に戻って表示されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。
- 歩数計・活動量計のデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や電池切れの状態で約1ヶ月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

歩数・活動量の1日分の履歴を見る

歩数計・活動量計で測定したデータの1日分の履歴を確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「1一日の歩数・活動量を見る」を押す

- 決定を押すたびに、通常情報→いきいき情報→歩数情報→活動情報の順で表示が切り替わります。ただし、歩数情報画面と活動情報画面は、当日を含めた過去7日以内の場合のみ表示できます。
- ◁▷を押すと、日付の表示が前後に切り替わります。
- 歩数情報画面または活動情報画面で(電話帳)を押すと、グラフ表示に切り替わります。

■ 履歴をメールで送信する場合：(メニュー)を押す

- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

お知らせ

- 通常情報画面で表示される活動量と、活動情報画面で表示される活動量の合計は、算出方法が異なるため数値に差異が出る場合があります。

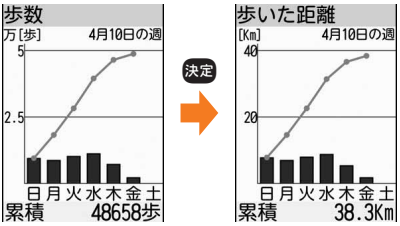
歩数・活動量の履歴をグラフで見る

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴をグラフで確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「2歩数・活動量のグラフを見る」を押す

1週間単位の歩数のグラフが表示されます。

- 1週間単位のグラフの場合のみ、日曜日から土曜日の累積が折れ線グラフで表示されます。



- 決定を押すたびに、歩数→歩いた距離→活動量→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間→いきいき活動量の順で表示が切り替わります。
- ◁▷を押すと、日付の表示が前後に切り替わります。
- (電話帳)を押すと、グラフと一覧の表示が切り替わります。

■ 日付単位のグラフを表示する場合：(メニュー)▶「3日ごとのグラフ」を押す

■ 月単位のグラフを表示する場合：(メニュー)▶「4月ごとのグラフ」を押す

歩数・活動量の履歴を一覧で見る

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴を一覧で確認します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「3歩数・活動量の履歴を見る」を押す

歩数	
[日] 0001/0007件	
04/15	2161歩
04/14	7078歩
04/13	11227歩
04/12	10147歩
04/11	8570歩
04/10	9475歩
04/09	7680歩

(決定)

歩いた距離	
[日] 0001/0007件	
04/15	1.7km
04/14	5.3km
04/13	8.8km
04/12	7.9km
04/11	6.9km
04/10	7.7km
04/09	6.2km

- (決定)を押すたびに、歩数→歩いた距離→活動量→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間→いきいき活動量の順で表示が切り替わります。
- (電話帳)を押すと、一覧とグラフの表示が切り替わります。

■ 1日分の履歴を表示する場合：日付を選択▶(メニュー)▶「2一日の詳細情報」を押す

- 履歴画面の表示、操作方法は「歩数・活動量の1日分の履歴を見る」と同様です。→p.340

■ 履歴をメールで送信する場合：日付を選択▶(メニュー)▶「4メールで送る」を押す

- iモードメールの作成・送信方法→p.152、p.156

歩数・活動量の履歴の削除

歩数計・活動量計で測定したデータの履歴を削除します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「6歩数・活動量の履歴を削除する」または「7今日の履歴を削除する」を押す

歩数と活動量の履歴／今日の歩数と活動量を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「6歩数・活動量の履歴を削除する」を押すと、すべての歩数計・活動量計データが削除されます。「7今日の履歴を削除する」を押すと、当日に計測中の歩数計・活動量計データのみ削除されます。

2 「1削除する」を押す

歩数と活動量の履歴／今日の歩数と活動量を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

歩数・活動量などの運動強度測定

現在の動作がどのくらいの運動強度であるかを数値（METs）で確認できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「4運動の強さを測定する」を押す

運動強度測定画面が表示されます。

- 歩数計・活動量計を「利用しない」に設定している場合は、歩数計／活動量計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。歩数計・活動量計の設定は「歩数計・活動量計の設定」操作2以降をご覧ください。→p.339

2 (決定)を押す

測定が開始されます。

運動強度測定	
測定中	
(決定)ボタンで停止	
現在	4.2METs
最高	5.3METs
平均	3.5METs

現在：現在測定されている運動強度を表示します。

最高：測定開始から現在までの運動強度の最高値を表示します。

平均：測定開始から現在までの運動強度の平均値を表示します。

■ 測定を停止する場合：(決定)を押す

- 測定開始から約60分経過すると、自動的に停止します。

歩数・活動量の自動送信メール

毎日指定した時間帯に、指定した宛先へ、最新の歩数・活動量の履歴を自動的にメールで送信します。自分で指定する宛先1件、健康応援サービス1件の合計2件を、自動送信メールの宛先として同時に設定できます。

- 自動送信メールを利用するためには、ｉモードのご契約が必要です。
- 送信される歩数・活動量の履歴に当日分は含まれません。
- 自動送信メールのパケット通信料は、お客様のご負担となります。

■ 健康応援サービスとは

自動送信メールを使用して、「@Fケータイ応援団」の健康応援サービスを利用できます。サービスの利用を設定すると、歩数や活動量の履歴が「@Fケータイ応援団」に自動送信され、「東海道五十三次」などの仮想のコースを歩く歩数計サービスや、1週間あたりの活動量が健康の目安の数値に達しているかどうか確認できる活動量計サービスを楽しむことができます。

- 健康応援サービスの利用料はかかりませんが、メールの送受信やｉモードサイトに接続した際のパケット通信料はお客様のご負担となります。
- 迷惑メール対策（→p.138）によるメールの受信制限を行うと、健康応援サービスは利用できませんのでご注意ください。
- 詳細は「@Fケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

アクセス方法（2013年11月現在）
待受画面で(iメニュー)▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

1 待受画面で(メニュー)▶「9歩数・活動量計を使う」▶「5自動送信メールを設定する」を押す

歩数・活動量の自動送信の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **送信先アドレス**：自動送信メールを送信する宛先を設定します。
2 **健康応援サービス**：健康応援サービスを利用するかどうかを設定します。
3 **送信時間帯**：自動送信メールを送信する時間帯を設定します。

2 「1送信先アドレス」を押す

自動送信の宛先の選択画面が表示されます。

■ 健康応援サービスのみ設定する場合：**「2健康応援サービス」を押す**
操作4に進みます。

3 「2直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

健康応援サービスの説明画面が表示されます。

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に(1あ/@)：「.」「@」「-」などを入力できます。
- 半角英字入力モード時に(*#)：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 電話帳から選択する場合：**「1電話帳から選択」▶電話帳を検索▶送信する相手を選択▶決定▶メールアドレスを選択▶決定を押す**
- 検索方法→p.84

■ 設定しない場合：**「3設定しない」を押す**

4 決定▶「1利用する」または「2利用しない」を押す

- 「1利用する」を押した場合は、最初の自動送信後に送られてくるメールの指示に従って設定を行ってください。
- 操作3で「3設定しない」を押し、さらに操作4で「2利用しない」を押した場合は、操作6に進みます。

5 「1 0時～2時」～「# 22時～24時」のいずれかを押す

操作1の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

自動送信メールを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面に🚶が表示されます。
- 歩数計・活動量計を「利用しない」に設定しているときは、歩数・活動量計の利用を設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと利用するかどうかの確認画面が表示されます。以降の操作は「歩数計・活動量計の設定」操作2以降をご覧ください。→p.339

送信時間帯になると

自動送信メールは、送信時間帯に待受画面が表示されているときに送信されます。自動送信メールが送信されると、送信した旨のメッセージが約3秒間表示されます。

- 自動送信メールは、「送信したメールを見る」の「送信箱」フォルダに保存されます。→p.170
- 送信に失敗したとき→p.157

お知らせ

- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、自動送信できません。「未送信のメールを見る」から不要なiモードメール、SMSを削除してください。→p.207
- 送信時間帯に待受画面以外を表示している場合は、待受画面が表示されたとき自動送信されます。

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、電話、iモード通信、データ通信など複数の通信を同時に利用できる機能です。

- マルチアクセスで同時に利用できる通信の詳細は「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。→p.421
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に通信料がかかります。

〈例〉通話中にiモードメールを受信する

1 通話中にメールを受信する

メールの受信中はディスプレイ上部に▮と✉が点滅表示されます。

- 着信音は鳴りません。
- 通話中にメールの内容を確認することはできません。

さまざまな画面で検索機能を使う

待受画面や他の画面を表示中に(らくらくサイト)を1秒以上押すことで、らくらくホンセンター、使いかたガイド、辞書、電話帳を利用することができます。〈らくらく検索〉

- 使いかたガイドを表示中は本機能を利用できません。
- 電話帳検索は待受画面とメニュー画面でのみ起動できます。
- 辞書を表示中は本機能の辞書検索を利用できません。
- オールロック中やおまかせロック中、ソフトウェア更新中など、他の機能が起動しているときや表示中の画面によっては、本機能を利用できない場合があります。

1 (らくらくサイト)を1秒以上▶「1らくらくホンセンター」～「4電話帳」のいずれかを押す

- らくらくホンセンターについて→p.35
- 使いかたガイドの操作方法→p.36
- 辞書の操作方法→p.356
- 電話帳検索の操作方法→p.84

自動的に電源を入れる

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に入るように設定します。〈自動電源ON設定〉

- 自動電源OFF設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.345

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「9設定時刻に電源を入／切する」▶「1電源が入る時刻を設定する」を押す

決めた時刻に電源が入る機能の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **自動電源入**：自動で電源を入れるかどうかを設定します。
2 **時刻**：自動で電源を入れる時刻を設定します。
3 **繰り返し**：自動で電源を入れる設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「1自動電源入」を押す

決めた時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1入れる」を押す

電源が入る時刻の設定画面が表示されます。

■ 自動的に電源を入れない場合：**「2入れない」を押す**

操作6に進みます。

4 時刻を入力▶決定を押す

繰り返しの種類の選択画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 「1毎日繰り返す」または「2繰り返さない」を押す

操作1の画面に戻ります。

6 (電話帳)を押す

決めた時刻に電源を入れる設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。

決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

自動的に電源を切る

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。〈自動電源OFF設定〉

- 自動電源ON設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.344

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[9]設定時刻に電源を入／切する」▶「[2]電源が切れる時刻を設定する」を押す

決めた時刻に電源を切る機能の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

[1] **自動電源切**：自動で電源を切るかどうかを設定します。

[2] **時刻**：自動で電源を切る時刻を設定します。

[3] **繰り返し**：自動で電源を切る設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 「[1]自動電源切」を押す

決めた時刻に電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]切る」を押す

電源を切る時刻の設定画面が表示されます。

■ **自動的に電源を切らない場合：「[2]切らない」を押す**

操作6に進みます。

4 時刻を入力▶(決定)を押す

繰り返しの種類の選択画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 「[1]毎日繰り返す」または「[2]繰り返さない」を押す

操作1の画面に戻ります。

6 (電話帳)を押す

決めた時刻に電源を切る設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面表示中以外のときに指定した時刻になった場合は、電源は切れません。動作中の機能を終了すると、電源が切れます。

通知時刻に自動的に電源を入れる

目覚ましや予定の通知の時刻に電源が切れているとき、電源を自動的に入れて目覚ましや予定の通知が動作するようにするかどうかを設定します。〈通知時刻自動電源ON設定〉

1 待受画面で(メニュー)▶「[5]便利なツールを使う」▶「[2]スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「[4]通知の時刻に電源を入れる」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]入れる」または「[2]入れない」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れる／入れないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- PIN1コード使用の設定中（→p.120）は、指定した時刻に電源が入ると、PIN1コード入力画面の表示よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。このとき、目覚まし音にダウンロードしたメロディを設定していた場合は「目覚まし1」が鳴ります。
- 電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

簡単な操作でタイマーを設定する

タイマーでお知らせするまでの時間を入力して設定します。〈お知らせタイマー〉

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「5お知らせタイマーを使う」▶時間を入力▶決定を押す

お知らせタイマーのカウントダウンが始まります。

- 1～60分の範囲で入力します。
- 待受画面で時間を入力して(電話帳)を押しても開始できます。
- カウントダウン中にFOMA端末を閉じると、背面ディスプレイにカウントダウン画面が表示されます。
- 中止するときは、カウントダウン中に決定▶「1中断して終了」を押します。

指定した時間が経過すると

次の通知画面が表示され、「目覚まし1」と「音量4」でタイマーが鳴り、ランプが点滅します。

- FOMA端末を閉じているときは背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- (終了)を押すとタイマーが終了し、待受画面に戻ります。
- (終了)と(らくらくサイト)と(ー)以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると、タイマーが停止し、指定した時間が経過した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 通話中に指定した時刻になると、タイマー音ではなく通知音が鳴り、画面の表示でお知らせします。決定を押すと、通話中の画面に戻ります。
- 電話中（通話中以外）、64Kデータ通信の発着信中に指定した時刻になると、それぞれの動作終了後にタイマーが動作します。
- 公共モード（ドライブモード）中に指定した時間が経過すると、タイマー音やランプは動作せず、画面の表示のみでお知らせします。
- バイブレータ設定の電話着信振動を「振動させない」以外に設定しているときは、指定した時間が経過するとバイブレータが「パターンA」で振動します。
- マナーモード中に指定した時間が経過すると、タイマー音は鳴らずバイブレータが「パターンA」で振動します。

目覚ましを使う

指定した時刻になったことを、設定した目覚まし音でお知らせします。

- 最大5件登録できます。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「3目覚ましを使う」を押す

目覚まし一覧が表示されます。

2 「目覚まし1」～「目覚まし5」のいずれかを選択▶決定を押す

時刻の設定画面が表示されます。

■ 目覚ましを動かす／止める場合：**登録済みの目覚ましを選択▶決定を押す**

目覚ましの動作の選択画面が表示されます。

操作11に進みます。

■ 設定を変更する場合：**登録済みの目覚ましを選択▶決定▶「3設定を変更する」▶変更する項目を選択▶決定▶操作3～9のいずれかを行う**

選択した項目の設定を変更すると、目覚ましの設定内容が表示されます。

操作10に進みます。

■ 設定を確認する場合：**登録済みの目覚ましを選択▶決定▶「4設定を確認する」を押す**

3 **時刻を入力▶決定を押す**

繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

4 **「1毎日繰り返す」～「3繰り返さない」のいずれかを押す**

- 「1毎日繰り返す」または「3繰り返さない」を押した場合は操作7に進みます。

5 **「1日曜日」～「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す**

曜日の□が☑に変わります。

- 決定：曜日を選択／解除します。
- メニュー：すべての曜日を選択／解除します。

6 **電話帳を押す**

題名の入力画面が表示されます。

7 **題名を入力▶決定を押す**

メロディ一覧が表示されます。

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

8 **フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す**

音量の調節画面が表示されます。

- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディを探せます。→p.229
- メロディの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

9 **音量キーまたは+−を押して音量を調節▶決定を押す**

目覚ましの設定内容が表示されます。

■ 消音に設定する場合：音量1のときに音量キー−のいずれか▶決定を押す

10 **電話帳を押す**

目覚ましを動かすかどうかの確認画面が表示されます。

11 **「1動かす」または「2止める」を押す**

目覚ましを動かした／止めた旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと目覚まし一覧画面に戻ります。

- 目覚ましを動かす設定にしているときは、目覚まし一覧の時刻の右側に「[起動]」と表示されます。また、待受画面に🕒または📅（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに🕒または📅（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。

目覚ましの時刻になると

次の通知画面が表示され、設定した音と音量で目覚まし音が鳴り、ランプが点滅します。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- 終了キーを押すと目覚ましが終了し、目覚ましが動作する前の画面に戻ります。
- 終了キーとらくらくサイトキーと+−以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると目覚ましが停止し、1分間鳴った後4分間停止する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。
- スヌーズ動作で停止しているときは、次回の通知時刻が表示されます。

お知らせ

- 電話中や通信中、公共モード（ドライブモード）中に指定した時刻になったときの目覚ましの動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.346
- バイブレータ設定の電話着信振動を「振動させない」以外に設定しているときや、マナーモード中に指定した時刻になったときのバイブレータの動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.346
- データ転送モード中に指定した時刻になると、転送終了後に目覚ましが動作します。

スケジュール帳を使う

行事や用件などの予定を登録して、必要なときに確認できるようにします。予定の日時に音声で通知するように設定したり、ダウンロードしたｉスケジュールを表示したりすることもできます。

- 2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。

カレンダーの表示

スケジュール帳のカレンダー画面を表示します。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」を押す

カレンダー画面が表示されます。

＜カレンダー画面＞

- 予定を登録している場合は◥(青色)が、ｉスケジュール内の予定を登録している場合は◥(赤色)が、日付の右上に表示されます。◥(青色)が優先して表示されます。
- 用件マークの意味は次のとおりです。
  : スケジュール帳に登録した予定
  : 電話帳に登録した誕生日
- 長期間の予定の場合は用件マークの下に↦(開始日)または↔(中間日)または↤(終了日)が表示されます。
- 赤外線通信で受信した予定やダウンロードした予定、ｉスケジュール内の予定は、異なる用件マークが表示される場合があります。
- ｉスケジュール内の予定は、用件マークの左側がオレンジ色で表示されます。
- ｉコンシェルを契約すると、当日から最大8日分の週間天気予報が自動的に配信され、カレンダー画面と予定一覧に表示されます。
- (▲)(▼)(◀)(▶)を押すと、カーソルが移動します。
- (メニュー)／(電話帳)を押すと、前の月／次の月が表示されます。

お知らせ

- 祝日を選択すると、年月の右側に祝日名が表示されます。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2013年11月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。
- ケータイデータお預かりサービスを利用できます。→p.132
- 電話帳に登録した誕生日は、スケジュールから修正や削除などの操作ができません。また、登録件数確認で表示される件数に含まれません。

予定の登録

スケジュール帳に予定を登録します。

- 最大2600件登録できます。→p.450

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」を押す

カレンダー画面が表示されます。

2 日付を選択▶(決定)▶「1登録する」を押す

予定の入力画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **予定の内容**：予定を入力します。
2 **日時**：予定の日時を指定します。
3 **通知**：予定の日時になったとき、通知するかどうかを設定します。

■ **すでに予定を登録している日付に追加する場合：日付を選択▶(決定)▶(電話帳)を押す**

3 「1予定の内容」▶予定を入力▶(決定)を押す

予定の日時を指定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 全角300文字、半角600文字以内で入力します。

4 **「1指定する」を押す**

予定を終日で指定するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **指定しない場合：「2指定しない」を押す**

操作2の画面に戻ります。
詳細を設定する場合は操作9に、設定しない場合は操作11に進みます。

5 **「1指定する」または「2指定しない」を押す**

開始日付または開始日時の入力画面が表示されます。

- 時刻を指定せずに終日の予定にする場合は「1指定する」を押します。
- 時刻を指定する場合は「2指定しない」を押します。

6 **開始日付または開始日時を入力▶決定を押す**

終了日付または終了日時の入力画面が表示されます。

- 日付の西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは前に0を付けます。
- 時刻は24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

7 **終了日付または終了日時を入力▶決定を押す**

予定の時刻に通知するかどうかの確認画面が表示されます。

- 入力方法は操作6と同様です。
- 終了日付または終了日時を開始日付または開始日時よりも後の日付や日時に設定すると、長期間の予定として登録されます。
- 終了日時を開始日時よりも前の日時で入力した場合は、終了日時を開始日時に合わせて設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと操作8に進みます。

8 **「1通知する」または「3通知しない」を押す**

操作2の画面に戻ります。
詳細を設定する場合は操作9に、詳細を設定しない場合は操作11に進みます。

■ **予定の時刻よりも事前に通知する場合：「2事前に通知する」▶何分前に通知するかを入力▶決定を押す**

- 0～99分の範囲で入力します。

9 **メニューを押す**

詳細の入力画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **詳細内容**：予定の詳しい内容を入力します。
2 **場所**：場所を入力します。

10 **「1詳細内容」▶詳細内容を入力▶決定▶場所を入力▶決定を押す**

操作9の画面に戻ります。

- 詳細内容は全角300文字、半角600文字以内で入力します。場所は全角25文字、半角50文字以内で入力します。

■ **操作2の画面に戻る場合：メニューを押す**

11 **電話帳を押す**

予定を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと予定一覧（→p.350）が表示されます。

- 予定の時刻に通知する設定にしているときは、待受画面に📝または📝⏰（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに📝または📝⏰（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

お知らせ

- スケジュール帳の保存領域の空きが足りないときや最大登録件数を超えるときは、不要な予定を削除してから登録する旨のメッセージが表示されます。予定を登録する場合は不要な予定を削除してください。→p.352

予定を通知する日時になると

次の通知画面が表示され、電話着信音量で設定した音量で「予定の時刻です」（事前に通知する設定の場合は「もうすぐ予定の時刻です」）という通知音声が鳴り、ランプが点滅します。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通知画面が表示されます。
- 📞を押すと予定の通知が終了し、予定の通知が動作する前の画面に戻ります。
- 📞とらくらくサイトと音量キー以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると予定の通知が停止します。
- 停止中に決定を押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。同じ日時に複数の予定を通知するように設定している場合は、他の予定の内容が表示され、決定を複数回押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。

お知らせ

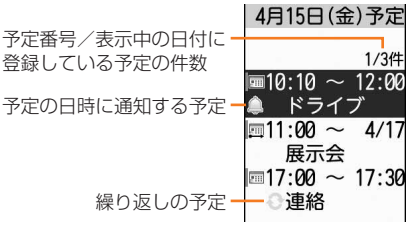
- 電話中や通信中、公共モード（ドライブモード）中、マナーモード中に、指定した日時になったときの通知の動作は、お知らせタイマーと同様です。→p.346
- バイブレータ設定の電話着信振動を「振動させない」以外に設定すると、指定した時刻になったとき設定に従ってバイブレータが振動します。
- データ転送モード中に指定した日時になると、転送終了後に予定の通知が動作します。

予定の確認

予定一覧や予定詳細画面を確認します。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

予定一覧が表示されます。

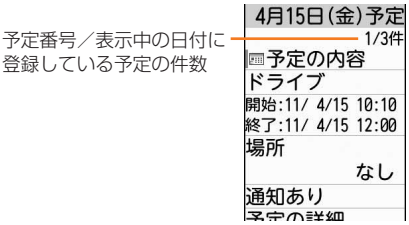


＜予定一覧＞

- 表示中の日付に週間天気予報が配信されている場合は、件数の下に表示されます。

2 確認する予定を選択▶決定を押す

予定詳細画面が表示されます。



＜予定詳細画面＞

- 同じ日付に複数の予定を登録している場合は、音量キーを押すと前後に登録している予定詳細画面に切り替わります。
- 電話帳を押すと予定一覧に戻ります。

■ 指定日の予定を表示する場合：予定一覧でメニュー▶「4指定日を表示」▶表示する日付を入力▶決定を押す

入力した日付の予定一覧が表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは前に0を付けます。

■ 当日の予定を表示する場合：予定一覧でメニュー▶「5当日に戻る」を押す

当日の予定一覧が表示されます。

お知らせ

- 誕生日の相手の電話帳にメールアドレスや電話番号を登録している場合は、誕生日の予定詳細画面で1件目のメールアドレスや電話番号にメールやSMSを送信したり電話をかけたりできます。

予定を修正する

登録した予定を修正します。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

2 修正する予定を選択▶(メニュー)▶「2修正する」を押す

- 以降の操作は「予定の登録」操作3以降をご覧ください。→p.348

お知らせ

- iスケジュール内の予定も予定一覧から同様に操作できますが、iスケジュール内の予定ではなく、コピーして自分で登録した予定として保存されます。
- 繰り返しの予定は、長期間の予定に修正して登録できません。繰り返しを解除してから修正してください。→p.351

予定をコピーする

登録済みの予定を、別の日付にコピーします。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

2 コピーする予定を選択▶(メニュー)▶「6指定日にコピー」▶コピー先の日付を入力▶決定を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとコピーした予定が予定一覧に表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

お知らせ

- iスケジュール内の予定は、同じ操作で指定日にコピーできません。

予定の繰り返しを設定する

習い事や会議など、定期的に行う予定に繰り返しの種類を設定することで、毎週や毎月の予定として表示することができます。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す

2 繰り返す予定を選択▶(メニュー)▶「7繰り返しを設定」を押す

繰り返しの種類の設定画面が表示されます。

3 「1毎日繰り返す」～「4毎年繰り返す」のいずれかを押す

繰り返し設定を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 曜日を指定して設定する場合：

①「5曜日を指定する」▶「1日曜日」～「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

- □から☑に変わります。
- 決定：曜日を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての曜日を選択／解除します。

② (電話帳)を押す

■ 繰り返しの設定を解除する場合：「6繰り返さない」を押す

4 決定を押すまたは約5秒後に予定一覧に戻る

お知らせ

- 長期間の予定やiスケジュール内の予定は、繰り返しを設定できません。

知られたくない予定を守る

他の人に見られたくない予定には、シークレット属性を設定します。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。〈シークレット属性設定／解除〉

1 **シークレットモードを設定する**
• 操作方法→p.124

2 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す**

3 **シークレット属性を設定する予定を選択▶決定▶(メニュー)▶「6シークレット属性設定」▶「1設定する」を押す**
シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ シークレット属性を解除する場合：**シークレット属性を設定している予定を選択▶決定▶(メニュー)▶「6シークレット属性解除」▶「1解除する」を押す**

4 **決定を押すまたは約5秒後に詳細画面に戻る**
• 設定中は🔑が点滅します。

お知らせ

- シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ表示できます。また、予定の通知もシークレットモード中のみ動作します。
- シークレットモード中に登録、変更した予定は、自動的にシークレット属性が設定されます。
- iスケジュール内の予定は、シークレット属性を設定できません。

予定の登録件数の確認

iスケジュールの登録件数、予定の登録件数、残り何件登録できるかの件数を表示します。シークレットモード中は、シークレット属性を設定している予定の件数も表示されます。〈登録件数確認〉

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「2予定の登録件数を見る」を押す**
登録件数の確認画面が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

予定の削除

不要な予定を削除します。

〈例〉予定を1件削除する

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す**

2 **削除する予定を選択▶(メニュー)▶「3削除する」を押す**
削除する予定の選択画面が表示されます。

3 **「1選択1件」を押す**
予定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 選択した日付の予定をすべて削除する場合：**「2選択1日」を押す**

■ 選択した日付より前の日付の予定をすべて削除する場合：**「3選択日前日まで」を押す**

■ すべての予定を削除する場合：**「4全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

4 **「1削除する」を押す**

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとカレンダー画面に戻ります。予定を削除した日付に他の予定がある場合や、「3選択日前日まで」を押した場合は予定一覧に戻ります。

- 「2選択1日」または「3選択日前日まで」を選択した場合、削除される予定に長期間の予定が含まれていると、長期間の予定が含まれる旨のメッセージが表示されます。「1長期間の予定も削除する」または「2長期間の予定は残して削除する」を押します。

iスケジュールを表示する

1件のiスケジュールには、複数の予定が含まれます（iスケジュール内の予定）。新しい予定をダウンロードしたり、ケータイデータお預かりサービスで保存したデータを更新・復元したりしたときに、iスケジュールが更新されます。

- iスケジュール内の予定は個別に削除できません。削除する場合はiスケジュールを削除します。

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す**

- 予定を登録していない場合は、予定を登録するかどうかの確認画面で「2指定日を見る」を押してください。

2 **メニュー▶「9iスケジュールを使う」を押す**

iスケジュール一覧が表示されます。

- iスケジュールが登録されていない場合はiスケジュールの説明画面が表示されます。
- iスケジュールの説明画面でメニュー▶「1リストを確認」～「3申込みをする」のいずれかを押して「1接続する」を押すと、どのようなiスケジュールがあるのか（iスケジュールリスト）を確認したり、iスケジュールを使うための申し込みをしたりできます。

3 **iスケジュール内の予定を表示するiスケジュールを選択▶電話帳を押す**

iスケジュール内の予定一覧が表示されます。

■ **iスケジュールの概要を表示する場合：概要を表示するiスケジュールを選択▶決定を押す**

iスケジュールの概要画面が表示されます。電話帳を押すとiスケジュール内の予定一覧が表示され、メニューを押すとiスケジュール一覧に戻ります。

■ **iスケジュールリストを確認する場合：「iスケジュールリストへ」▶「1接続する」を押す**

iモードサイトに接続され、iスケジュールリストが表示されます。

4 **iスケジュール内の予定を選択▶決定を押す**

iスケジュール内の予定の詳細画面が表示されます。電話帳を押すとiスケジュール内の予定一覧に戻ります。

iスケジュールを削除する

iスケジュールを削除します。iスケジュールを削除すると、iスケジュール内の予定もすべて削除されます。iスケジュールは、iスケジュール内の予定だけを個別に削除することはできません。

〈例〉iスケジュールを1件削除する

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」▶日付を選択▶決定を押す**

2 **メニュー▶「9iスケジュールを使う」を押す**

iスケジュール一覧が表示されます。

3 **削除するiスケジュールを選択▶メニュー▶「1削除する」を押す**

iスケジュールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **すべてのiスケジュールを削除する場合：メニュー▶「2全件削除する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

4 **「1削除する」を押す**

ｉスケジュールを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとｉスケジュールの説明画面が表示されます。他のｉスケジュールがある場合はｉスケジュール一覧に戻ります。

お知らせ

- ｉコンシェルからスケジュール帳を起動したときやｉスケジュールをダウンロードしたときに予定の最大登録件数を超える場合は、他の予定（スケジュール）を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って不要な予定またはｉスケジュールを削除してください。

通話時間を確認する

直前の通話時間と、積算の通話時間を確認します。
〈直前通話時間／積算通話時間〉

- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 直前通話時間は、直前に行った電話またはデータ通信の通話時間が表示されます。
- 積算通話時間は、電話、データ通信に分けて表示されます。
- 以前に積算通話時間をリセット（→p.354）した場合は、リセット時から現在までの積算通話時間が表示されます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「1通話時間を見る」を押す**

確認する項目の選択画面が表示されます。

2 **「1直前の通話時間」または「2積算の通話時間」を押す**

直前通話時間または積算通話時間の画面が表示されます。

- 決定を押すと操作1の画面に戻ります。

お知らせ

- 直前通話時間、積算通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

積算通話時間リセット

電話またはデータ通信の積算時間をリセットします。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「3通話時間をリセットする」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

リセットする項目の選択画面が表示されます。

3 **「1電話」～「3全ての通話」のいずれかを押す**

積算時間をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1リセットする」を押す**

積算時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

通話料金を確認する

直前の通話料金と、積算の通話料金を確認します。
〈直前通話料金／積算通話料金〉

- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などにかけた場合は、直前通話料金に「0円」または「******」が表示されます。
- 直前通話料金は、電話、データ通信に分けて表示されます。
- 積算通話料金は、電話、データ通信を合わせて表示されます。
- 通話料金はドコモUIMカードに蓄積されるため、ドコモUIMカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 以前に積算通話料金をリセット（→p.355）した場合は、リセット時から現在までの積算通話料金が表示されます。
- 表示される通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。また、表示される通話料金に消費税は含まれていません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「2通話料金を見る」を押す**
確認する項目の選択画面が表示されます。

2 **「1直前の通話料金」または「2積算の通話料金」を押す**
直前通話料金または積算通話料金の画面が表示されます。
- 決定を押すと操作1の画面に戻ります。

お知らせ

- iモード通信、パケット通信の通信料金はカウントされません。
- FOMA端末の電源を入れ直した場合、相手が応答しなかった場合、着信した場合は、直前通話料金に「******」が表示されます。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話料金リセット

電話、データ通信の積算料金をリセットします。

1 **待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「4通話料金をリセットする」を押す**
PIN2コード入力画面が表示されます。

2 **PIN2コードを入力▶決定を押す**
PIN2コードが認識された旨のメッセージが表示されます。

3 **決定または約5秒後▶「1リセットする」を押す**
積算通話料金をリセットした旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

電卓を使う

電卓を使って＋、－、×、÷の計算をします。

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツール を使う」▶「1電卓を使う」を押す**

電卓画面には、操作に使用するボタンの位置と機能が表示されます。

2 **計算する**

- 次のボタンを押して操作ができます。

0わん〜9わ：数字を入力します。

▷／◁／△／▽：＋／－／×／÷を入力します。

決定：＝を入力します（計算の実行）。

*：小数点を入力します。

#：入力した数字の＋と－を切り替えます。

電話帳：最後に入力した数字を一桁削除します。

メニュー：入力した数字や計算結果を削除します。

〈例〉18＋30＝を計算する

1	8	＋	3	0	＝	48
1あ	8や	▷	3さ	0わん	決定	

お知らせ

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

辞書を使う

国語／和英／英和辞典を使って用語の意味などを調べることができます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツール を使う」▶「3辞書を使う」▶「1国語辞典を使う」〜「3英和辞典を使う」のいずれかを押す**

用語の入力画面が表示されます。

2 **検索する用語を入力▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。ただし英和辞典の場合は半角英字入力モードのみでの入力となります。

3 **調べたい用語を選択▶決定を押す**

詳細画面（用語の意味など）が表示されます。

■ **入力し直す場合：検索結果一覧で(電話帳)を押す**

操作2に戻ります。

■ **詳細画面の内容をコピーする場合：(メニュー)を押す**

- 以降の操作は「文字のコピー／切り取り／貼り付け」操作3以降をご覧ください。→p.372

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

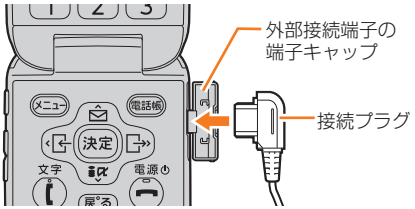
外部接続端子にステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続すると、スイッチを押して電話をかけたり受けたりすることができます。

- スイッチを押して電話をかけるには、イヤホンスイッチ設定を設定する必要があります。→p.357
- ステレオイヤホンマイク 01などのコードをFOMA端末に巻き付けたりアンテナ部分に近づけたりしないでください。電波の受信レベルが低下したり雑音が入ったりする場合があります。
- ステレオイヤホンマイク 01などのプラグは、確実に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ01（別売）を利用すると、平型ステレオイヤホンセットP01（別売）などを接続できます。→p.422

スイッチ付イヤホンマイクの接続

- イヤホンのご利用について→p.21

1 外部接続端子の端子キャップを開け、ステレオイヤホンマイク 01の接続プラグを差し込む



イヤホンスイッチ動作の設定

ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで電話を発信できるように設定します。〈イヤホンスイッチ設定〉

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5イヤホンを設定する」▶「2イヤホンスイッチの動作を設定する」を押す

イヤホン接続時の動作の設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **イヤホンスイッチ動作**：スイッチを押して電話を発信するかどうかを設定します。

2 **発信先**：電話を発信する相手を電話帳から選んで設定します。

2 「1イヤホンスイッチ動作」▶「1発信する」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

■ スイッチを押して電話を発信しない場合：「1イヤホンスイッチ動作」▶「2発信しない」を押す

操作4に進みます。

3 電話帳を検索▶発信する相手を選択▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- 検索方法→p.84

4 (電話帳)を押す

イヤホン接続時の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 発信先に設定した電話帳に電話番号を2件以上登録している場合は、1件目に登録している電話番号に電話がかかります。
- 発信先に設定した電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりすると、設定は解除されます。

スイッチを使った電話のかけかた／受けかた

イヤホンスイッチで電話をかける

ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで電話をかけます。

1 ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

イヤホンスイッチ設定の発信先に指定した電話番号に電話がかかります。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったら、ピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

イヤホンスイッチで電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで電話を受けます。

1 電話がかかってきたら、ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

電話がつながります。

- イヤホン切替設定（→p.359）に従って着信音が鳴ります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったら、ピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

通話中に別の電話を受ける

キャッチホンをご利用中は、ステレオイヤホンマイク 01（別売）のスイッチで通話中にかかってきた電話を受けることができます。

1 通話中に電話がかかってくる

通話中着信音（→p.67）が聞こえます。

2 ピピッと音がするまでスイッチを1秒以上押す

キャッチホン中（マルチ接続）の画面が表示されます。

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

- 通話中に電話帳またはスイッチを1秒以上押すと、通話の相手を切り替えます。

お知らせ

- ステレオイヤホンマイク 01を接続中は、FOMA端末を閉じても電話は切れません。
- マルチ接続中に通話中の相手を保留にしてスイッチを1秒以上押すと、通話の相手が切り替わらず表示中の相手との通話が切断されますのでご注意ください。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続しているときに着信があった場合、設定した応答時間になると自動的に応答します。電話を受けたとき、接続したイヤホンなどから音声が聞こえます。〈オート着信設定〉

- 通話中の着信に対しては、本機能は動作しません。

1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5イヤホンを設定する」▶「1イヤホン接続時の着信動作を選ぶ」を押す

イヤホン使用中の着信方法設定画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **応答方法**：自動と手動のどちらで接続するかを設定します。

2 **応答時間**：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 「1応答方法」▶「2自動で応答する」を押す

応答時間の設定画面が表示されます。

■ 手動で応答する場合：**「1応答方法」▶「1手動で応答する」を押す**

操作4に進みます。

3 時間を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- 応答時間の秒数を0～120秒の間で入力します。

4 (電話帳)を押す

イヤホン使用中は自動で応答する／手動で応答するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能と無音着信時間設定（→p.131）を同時に設定している場合、無音着信時間を本機能の応答時間以上に設定すると、本機能は動作しません。

イヤホンだけから着信音を鳴らす

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続したときに、着信音や目覚まし音などをイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンのみから鳴らすかを設定します。〈イヤホン切替設定〉

1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「5音を設定する」▶「3イヤホン利用時の切替を選ぶ」を押す

着信音の鳴る所の選択画面が表示されます。項目の意味は次のとおりです。

1 **イヤホンとスピーカー**：イヤホンとスピーカーの両方から鳴らします。

2 **イヤホンと20秒後にスピーカー**：イヤホンから鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも鳴らします。

3 **イヤホンのみ**：イヤホンからのみ鳴らします。

2 「1イヤホンとスピーカー」～「3イヤホンのみ」のいずれかを押す

イヤホンの切替を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

集音器を使う

周囲の声や音が聞こえにくいときに、FOMA端末のマイクから集音してイヤホンで聞くことができます。音量を調節することもできます。

- イヤホンをFOMA端末に接続していない状態では、本機能を利用できません。
- FOMA端末に対応したイヤホンをご利用ください。→p.422

1 イヤホンをFOMA端末に接続する

- 接続方法→p.357

2 待受画面で(メニュー)▶「[#]集音器を使う」を押す

集音器画面が表示され、イヤホンから声や音が聞こえます。

- 約60秒間イヤホンの接続がないと、本機能は終了します。

■ **音量を調節する場合：集音器画面表示中に(カメラ)(ボイスレコーダー)[+][−]のいずれか▶(カメラ)(ボイスレコーダー)(上)(下)または[+][−]を押して音量を調節▶(決定)を押す**

- 本機能終了後、設定は保持されません。

■ **集音器を停止する場合：(戻る/イチオシ)を押す**

メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を起動してからFOMA端末を閉じても利用できます。ただし、開閉ロックを設定中にFOMA端末を閉じると、本機能は終了し開閉ロックが起動します。
- 本機能を利用中に電話がかかってきたり、エリアメールを受信したり、目覚ましや予定の通知の時刻になると、本機能は終了します。
- 音量を大きくしすぎないようにご注意ください。
- 大音量で長時間続けて聞かないようにしてください。

ドコモコミュニティについて

ドコモコミュニティは、2012年12月10日をもってサービスを終了させていただきました。本サービスに関する機能は、FOMA端末のメニュー画面に表示されますが、ご利用になれません。また、「ドコモコミュニティサイトを見る」からサイトに接続した場合、および「日記を書く」から作成したメールを送信した場合はパケット通信料がかかりますので、ご注意ください。

つながりほっとサポートについて

「つながりほっとサポート」とは、あらかじめ指定した相手に、携帯電話の利用記録をお知らせすることができるサービスです。また、利用記録に連動したキャラクターとともにご自身の利用記録を確認したりすることができます。

- つながりほっとサポートはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには i モード契約が必要です）。
- つながりほっとサポート契約中は待受画面に(黒）が表示されます。契約中に利用記録を停止すると(グレー）が表示されます。
- つながりセンター（つながりほっとサポートのサーバ）に自動的に歩数、ケータイ開閉回数、カメラ撮影、電池残量が記録されます。つながりセンターと通信中は通信中が点滅します。
- つながりほっとサポートの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面でメニュー▶「6つながりほっとサポートを使う」を押す

- つながりほっとサポートを契約していない場合は、サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1今日の利用記録を見る」～「3利用記録を停止／再開する」のいずれかを押す

■ **今日の携帯電話の利用記録を確認する場合：「1今日の利用記録を見る」を押す**

今日の利用記録が表示されます。

- 利用記録として電池残量は表示されません。
- 利用記録画面で電話帳を押すと、過去の利用記録を見ることができます（つながりセンターに接続されます）。

■ **つながりセンターに接続する場合：「2つながりセンターに接続する」を押す**

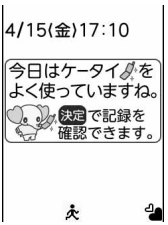
画面の案内に従って目的の操作を行ってください。ご利用には別途パケット通信料がかかります。

■ **利用記録を停止／再開する場合：「3利用記録を停止／再開する」▶「1停止する」または「2再開する」を押す**

利用記録を停止／再開した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

利用記録が一定の数値になると

待受画面にキャラクターとメッセージが表示されます。



- 戻る(チャネル)または(終了)を押すと、表示が消去されます。

お知らせ

- 利用記録を停止しても、つながりほっとサポートの契約は継続されます。
- 電源を切った状態など、つながりセンターと通信できない状態で93日間が経過すると、過去の利用記録が削除されます。